

領域別実習への抱負



これまでの学びや実習で得た知識・技術、そしてコミュニケーション力や観察力をさらに磨き、患者さんを多角的にアセスメントしながら、その人らしさや強みに寄り添った個別性のある看護を実践していきます。残存機能の維持・向上につながる援助を行うとともに、これまで培ってきた力を統合し、患者さん一人ひとりのニーズに応えられる看護を提供できるよう努めていきます。